

基本目標Ⅳ

鯖江る！

安心して快適で魅力的なまちをつくる

「稼ぐ地域、魅力ある仕事」、「若者が集い住みたくなるまち」、「育てやすい暮らしやすいまち」をつくり、それぞれの効果の好循環を生み出すためには、市民にとって安心して快適であるとともに、住みたいと思える魅力的な居住空間・生活環境が欠かせません。

市民の利便性向上や市役所内の業務効率化のため、行政手続きのデジタル化をはじめとするITのまちさばえの推進を図り、誰でも便利で快適な社会を目指すとともに、デジタルの力を活用して、地方創生の加速化、深化を図ります。

また、機能的で利便性が高く、子どもから高齢者まで全ての市民の安全性が保たれ、安心して生活ができるまちづくりを進めるとともに、市民や事業者、行政が協働でふるさと鯖江の自然環境や公共空間の管理を一体的に推進することで住みやすい、良好な生活環境を整えます。

さらに、伝統的な「ものづくり」産業や豊かな自然、歴史、文化、スポーツ等の豊富な地域資源を活用した賑わい、活気あるまちづくりを推進し、唯一無二の魅力的な「選ばれるまち」をつくりまします。

KPI（成果指標）	単位	現状値	目標値
快適に暮らせると感じる人の割合	%	81.5	87.5

基本
施策

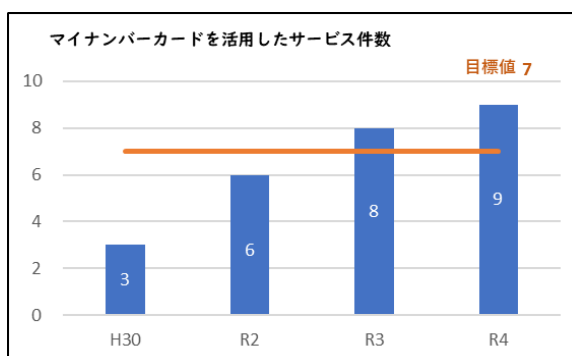
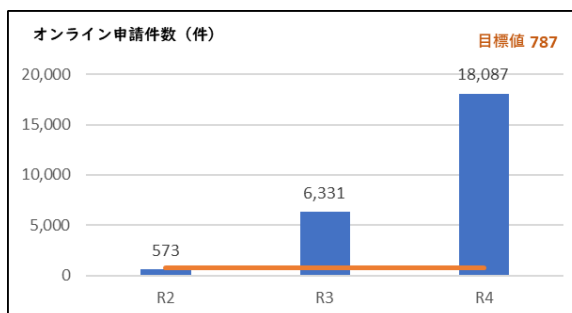
- 1 ITのまちさばえの推進
- 2 魅力あふれるまちなかの創造
- 3 豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境
- 4 強靱で安全・安心なまち
- 5 環境にやさしい魅力的なまち

基本施策Ⅰ ITのまちさばえの推進

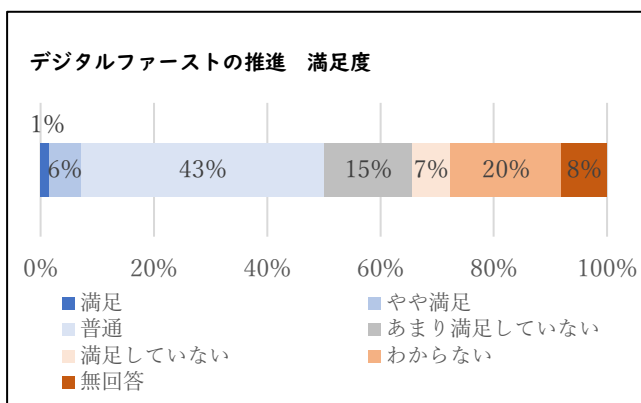
■ 現状

- 「ITのまちさばえ」として、オープンデータを推進し、行政のもつ情報を積極的にオープンデータ化しています。
- 行政手続きの電子申請化を推進し、市民サービスの向上と行政事務の簡素化、効率化を図りました。
- ITに触れその便利さや豊かさを感じてもらうため情報利活用講座等を実施しています。
- 市HPやSNSを活用し、正確で素早い情報の発信に努めています。
- マイナンバーカードを活用したサービスの増加に努めています。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度	3.15
-----	------

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと（案）

- ・ 電子申請をより使いやすくし、利用していただけるようにするため、サービスの充実および利便性を図るよう職員研修や市民への周知が必要です。
- ・ 国・県をはじめ、他自治体の情報収集を行い、マイナンバーカードを使ったサービスを拡大していく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性（案）

- ・行政手続きの電子申請化をより一層推進し、いつでもどこでも行政手続きを完結できる環境を整備するなど、市民サービスの向上と行政事務の簡素化・効率化を図ります。
- ・全ての市民がITの恩恵を享受できるよう、スマホやタブレットに親しんでもらうことを目的とした講習会などを開催します。
- ・市が保有しているデータを自動的にオープンデータとして公開出来るような仕組みを検討していきます。
- ・市のホームページをはじめ SNS や動画チャンネルを活用し、それぞれの特性を生かした分かりやすい情報発信に努めます。

デジタルの力でできること



- ・電子申請の整備による 24 時間いつでもどこでも手続きができる環境づくり
- ・市の保有するデータの積極的な公開と、データに基づいた市の状況の見える化
- ・SNS や動画チャンネルを活用したわかりやすい市政情報発信

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 行政手続き・申請オンライン化

実施事業	事業内容
電子申請等事業	オンラインによる行政手続きの充実を図ります。
Web 行政手続き案内事業	手続きナビゲーションツールの導入を実施します。
スマートフォン等講座事業	スマートフォンなどデジタルツール活用講座を開催します。

② オープンデータ推進

実施事業	事業内容
オープンデータ自動化事業	ホームページに公開したものが自動的にオープンデータとして公開できるような仕組みをつくります。
オープンデータ連携事業	子育て支援アプリなど、特定の市民が活用するアプリにデータを連携し随時情報を発信します。

■ KPI（成果指標）（案）

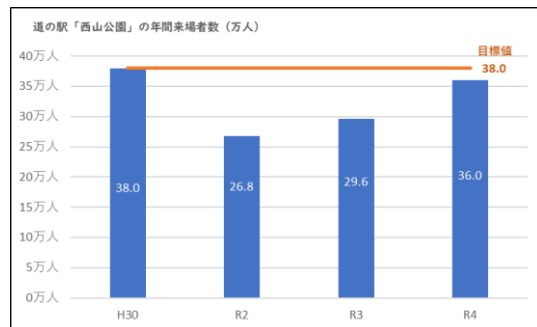
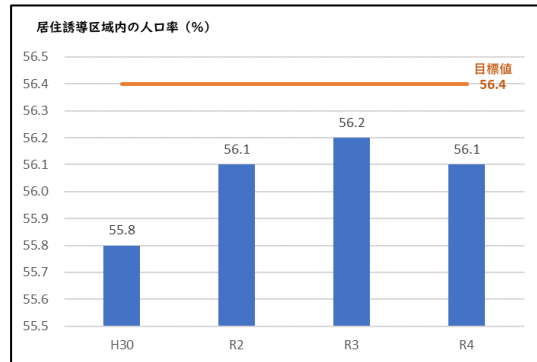
KPI（成果指標）	単位	現状値	目標値
市ホームページ閲覧者数	万人	163 (2022)	200 (2028)
SNS（市公式アカウント） フォロワー数	万人	6.3 (2023.9.5)	6.6 (2028)
オンライン申請件数	件	18,087 (2022年)	40,000 (2028年)
オープンデータ公開自動化数	件 (累計)	5 (2022年)	20 (2028年)

基本施策2 魅力あふれるまちなかの創造

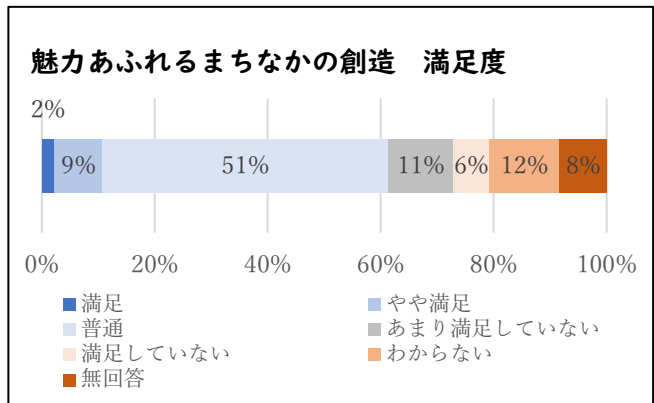
■ 現状

- 持続的な都市経営を可能とするために、居住や都市機能をまちなかに誘導するコンパクトシティを推進してきました。
- 居住誘導区域内の人口率は横ばいで推移しています。
- 道の駅「西山公園」や西山動物園の来場者数は新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込みましたが、回復傾向にあります。
- 人口の急速な減少と高齢化に対応するため立地適正化計画の推進を図りました。
- 都市構造再編集中支援事業を活用し、公共施設の整備を推進しています。
- 空き店舗へのサテライトオフィスの誘致などを通して、中心市街地の活性化を推進しています。
- 空き家の戸数が年々増加しています。
- 地域の歴史や芸術文化を学ぶことを通じて、市民自らが、住んでいるまちの魅力を再発見し、ふるさとへの愛着と誇りを育むことを推進しています。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度	3.70
-----	------

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと（案）

- ・ 人口減少・高齢化社会に対応した持続可能な都市運営を推進するため、都市基盤整備が行われた市街地や公共交通などの利便性が高い駅周辺を中心に居住を誘導していく必要があります。
- ・ 空き家・空き地を活用し、移住定住促進や、地域の活性化につなげていく必要があります。
- ・ 道の駅や動物園を含む西山公園一帯の更なる魅力向上に努め、SNS等を通じた広報活動を行っていく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性（案）

- ・今後も持続可能な都市経営を可能とするために、公共施設や生活便利施設などの都市機能の集約を図り、安心して住み続けることができる、活力あるまちづくりを計画的に推進します。
- ・多様な主体と連携・協働し、西山公園や間部藩陣屋まちと誠照寺門前まちの歴史を活かした中心商店街の活性化について検討します。
- ・空き店舗へのサテライトオフィスの誘致やシェアリングエコノミーの活用による駐車場の確保等を推進するなど、「賑わい」「憩い」「癒し」にあふれる中心市街地の形成を図ります。
- ・空き家・空き地を活用し、移住定住促進や地域の活性化につなげていきます。
- ・日本の歴史公園100選にも選ばれている西山公園の魅力向上による活性化を図るとともに西山動物園や道の駅を最大限に活用することで、西山公園一帯がより市民に愛されるにぎわいの場となるよう努めます。

デジタルの力でできること



・キャッシュレス決済の導入支援によるまちなか店舗の魅力向上

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 居住や都市機能の誘導

実施事業	事業内容
サテライトオフィス誘致事業	市内にオフィスを開設・運営する県外事業者の誘致を促進します。
立地適正化計画の推進	居住や都市機能をまちなかに誘導するコンパクトシティを推進します。

② 中心市街地の活性化

実施事業	事業内容
街なか賑わいづくり振興事業	中心市街地や周辺商業の活性化、商業人材育成と経営者の意識改革の促進ならびに商店会の各種団体の育成を図ります。
サテライトオフィス誘致事業	市内にオフィスを開設・運営する県外事業者の誘致を促進します。
まちなか誘客事業	鯖江に訪れる観光客をまちなかへ誘客する事業を実施します。
都市構造再編集集中支援事業（鯖江駅周辺地区）	鯖江駅周辺を中心とした公共施設の整備を実施します。
（仮称）西山公園・鯖江 IC 連絡道路整備の検討	西山公園や中心市街地と鯖江 IC を直結する（仮称）西山公園・鯖江 IC 連絡道路整備の検討を行います。

③ 西山公園エリアの充実（再掲）

実施事業	事業内容
西山公園施設改修事業	利便性向上のための施設整備や老朽化した公園施設の改修を行います。
西山公園夜間景観演出事業	桜やモミジのライトアップや冬季のイルミネーションを実施します。
西山公園利用促進支援事業	西山公園で実施するイベントに対して補助金を支出し、にぎわいづくりを創出します。
西山動物園充実事業	老朽施設の改修や動物園施設の整備、魅力的なイベントの開催やSNS等を使用した動物たちの情報発信を行い、西山動物園の充実を図ります。
ナイトコンテンツ造成事業	商業と観光の賑わいづくりと西山公園の通年利用を目的に、西山公園のナイトコンテンツの充実を図り、新たな商業と観光の賑わいを創出します。
禰陽会館複合交流施設整備事業	鯖江市のシンボリック施設である禰陽会館のホール機能に、屋内遊技場と市民活動交流センターの機能を加え、施設の付加価値を高めるとともに鯖江駅、西鯖江駅、西山公園、禰陽会館や道の駅一帯をエリアと捉え、賑わいの導線の構築を研究するなど、にぎわいの拠点として、西山公園エリア全体の魅力向上を推進します。

④ 空き家の適正管理と利活用の促進

実施事業	事業内容
空き家コンシェルジュ事業	空き家の解消および空き家の発生抑制のため、専門団体による無料相談会を実施します。
特定空家等改善事業	認定した特定空家等の所有者に対し、空き家解消のための指導を行います。
老朽危険空家等除却支援事業	老朽化して危険な空き家の除却を促進するため、除却費用の一部を支援します。
住み続けるまちさばえ支援事業	移住者や子育て世代、新婚世帯等が空き家の購入、リフォームをする際に費用の一部を支援します。

⑤ ふるさとの歴史・芸術文化の再発見（再掲）

実施事業	事業内容
まちなか芸術祭	シビックプライドの向上のため市の文化的地域資源である芸術文化・歴史を活かした事業を実施し、市の魅力を発信します。
近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業	郷土の偉人浄瑠璃・歌舞伎作家近松門左衛門について学び親しみ顕彰する事業を実施します。
鯖江藩殿様体験学習会業務委託	鯖江の礎を築いた第7代藩主間部詮勝について学び親しみ顕彰する事業を実施します。
文化財活用事業	地域の文化財に触れ、身近に感じる機会を創出する事業を実施します。

■ K P I (成果指標) (案)

K P I (成果指標)	単位	現状値	目標値
居住誘導区域内の人口率	%	56.1	56.1
西山公園来園者数	万人	81.1	90.0
西山動物園来場者数	万人	18.8	20.0
空き家が解消された戸数	戸/年	93	140
空き家相談会参加者数	人/年	55	80
空き家情報バンク登録件数	件/年	33	40

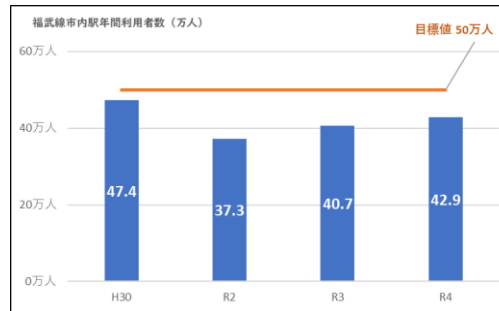
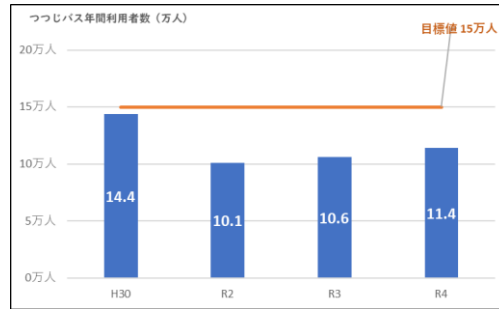
基本施策 3 豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境

優先的
改善項目

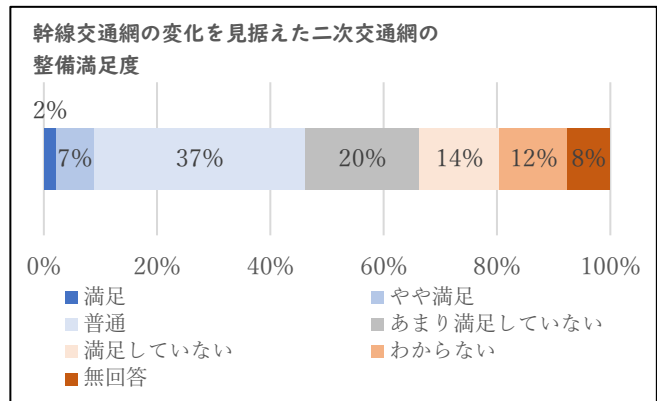
■ 現状

- 地域の身近な移動手段であるコミュニティバス「つつじバス」について利便性の向上に努めてきました。
- つつじバス運行車両の老朽化による安全性や快適性の低下に対応するため、車両を更新しました。
- つつじバス、福武線の年間利用者数は回復傾向にあります。コロナ禍前の水準に回復するには相当な時間を要すると思われます。
- 北陸新幹線金沢・敦賀駅間開業を見据えて、魅力あるまちづくりのため、鯖江駅の利用促進、魅力向上を検討してきました。(再掲)
- 北陸新幹線開業に伴い、第3セクターとして開業したハピラインふくいについて鉄道利用を促す取り組みが必要です。
- 様々な利用者のニーズに応えられるよう、小回りの利く新たな移動手段として「自家用有償旅客運送」の実証実験を実施しました。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度 **4.06**

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと

- つつじバスについて、SNS を活用した情報発信や利用者の意見の把握などにより、利用を促進する必要があります。
- 福武線について、サポート団体や沿線市と連携して利用を促進する必要があります。
- ハピラインふくいについて、県・沿線市と連携して利用を促進するとともに、駅の利便性を向上する必要があります。
- 高齢者の移動手段を確保する必要があります。
- 新幹線停車駅のある越前市からの誘客を促進するため、丹南地域全体の広域交通を推進していく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性

- ・福井鉄道、ハピラインふくいによって形成される鉄道幹線交通とコミュニティバス等による二次交通網のネットワーク化を推進し、日常の生活交通に対応する公共交通網を構築します。
- ・新たな交通手段の導入を検討し、利用者のニーズに応じた交通網を構築します。
- ・運行経路・時刻などの基本情報をわかりやすく提供し、観光・ビジネス客も気軽に利用できる公共交通を整備します。
- ・デジタル技術の活用により、利便性の高い交通サービスを提供することを検討します。
- ・丹南地域全体の広域交通についても推進し、観光スポット間を行き来できる2次交通の整備を推進します。

デジタルの力でできること



- ・MaaSによる公共交通のサービス向上
- ・SNS等の情報発信による新規のつつじバスの利用者の開拓
- ・人流データを活用した観光プロモーション

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成（再掲）

実施事業	事業内容
コミュニティバス運行事業	令和4年度に再編したつつじバスを運行するとともに利用促進のための企画切符やSNSを活用した情報発信を実施します。
福井鉄道福武線支援事業	第3次スキームに基づいた支援を実施し、県、沿線3市および福鉄を支援する市民団体との協働により利用促進を図ります。
ハピラインふくい支援事業	第3セクター会社として経営安定のための基金を拠出し、県、沿線市町との協働により利用促進を図るとともに駅利便性向上のため協力を図っていきます。
新たな交通手段導入検討事業	市民意見を聞きながら、デマンド交通など新たな交通手段の導入を研究します。
デジタルを活用したサービス向上事業	公共交通のサービス向上のため、複数の公共交通やそれ以外のサービス連携のため、MaaSの導入を検討します。
鯖江駅東口等整備事業	鯖江駅東口改札設置や駐車場等駅周辺整備を実施します。
タクシーを活用した観光モデル事業	新幹線駅ならびに鯖江駅から市内観光地への二次交通（タクシー）利用料金に対して補助を行う実証実験を行います。

■ K P I (成果指標)

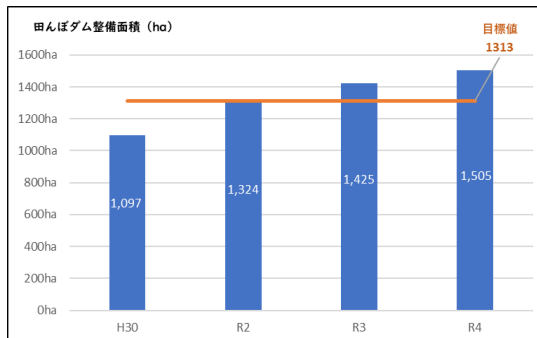
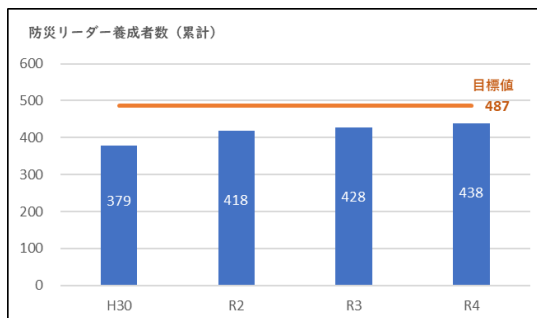
K P I (成果指標)	単位	現状値	目標値
つつじバス年間利用者数	万人	14.4 (2018年)	15 (2024年)
福武線市内駅年間利用者数	万人	47.4 (2018)	50 (2024)
二次交通網の整備に満足している人の割合	%	58.7 (2018年)	60 (2024年)

基本施策 4 強靱で安全・安心なまち

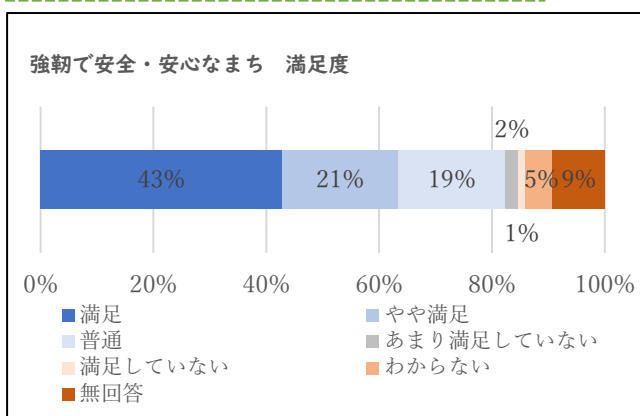
■ 現状

- 定年延長後も働き続ける人が増え、日中に自宅にいる人が減ったことによる地域の防犯の目が減少しています。
- 想定を上回る大雨の発生頻度が増加しており、それに伴う避難情報の発令も増加傾向にあります。
- 減災と地域防災力向上のため、「鯖江市防災リーダー養成講座」を開催し、防災リーダーの人数を増加させてきました。
- 田んぼの所有者や耕作者の協力を得て、田んぼダムの整備面積を広げてきました。
- 空き家の戸数が年々増加している中、適正な管理がされていない空き家や老朽化して倒壊の恐れのある危険な空き家が増加してきています。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度

4.18

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと（案）

- ・ 地域における防犯の目を増やすため、防犯隊の継続および家庭における防犯カメラの設置を増やす必要があります。
- ・ 市民に対する避難情報の確実な伝達や自助意識の醸成、自主防災組織の活性化、避難行動要支援者に対する支援の検討を行う必要があります。
- ・ 所有者に対し空き家の適正管理を促すとともに、老朽化して危険な空き家については除却等の指導を強化していく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性（案）

- ・積極的に正しい消費生活のための知識と情報を発信しながら、被害の未然防止のための周知・啓発活動を実施します。
- ・自然災害に備え、防災・減災に資する治水対策や土砂差市外防止対策に取り組みます。
- ・まちなかの浸水対策を図るため、雨水幹線等の整備のほか、流域治水を推進するための田んぼダム等の整備を進め、市民が安心して住み続けることができる水害に強いまちづくりを推進します。
- ・自然環境や生活環境の保全の推進に取り組みます。

デジタルの力でできること



- ・WEBカメラの活用による河川水位情報等のリアルタイム公開
- ・IoT技術の導入による排水機場運転の遠隔操作
- ・給水設備台帳および排水設備台帳の電子申請化

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 防災・防犯対策の推進

実施事業	事業内容
防犯隊活動事業	防犯隊員による青色回転灯装備車を使ったパトロールや、徒歩巡回パトロールを実施します。
家庭用防犯カメラ設置補助事業	家庭用防犯カメラの設置について、補助をすることにより防犯カメラの設置台数を増やします。
一斉配信メール登録啓発事業	一斉配信メールの登録を促し、一人でも多くの市民が防災情報を取得できるように登録者を増やします。
防災出前講座等事業	防災の出前講座等を実施します。
避難行動要支援者支援事業	防災・福祉委員会を町内に設置してもらい、避難行動要支援者の避難等支援の検討を行います。

② 浸水被害の軽減

実施事業	事業内容
河川整備事業	水害から市民の命とくらしを守るため、河川改修や浚渫また立木伐採など県と連携し実施し、水害に強いまちづくりを推進します。
雨水幹線等整備事業	市民のかけがいのない生命や財産を水害から守るため、浸水被害の解消・軽減を目指し、雨水幹線等の整備を推進します。
田んぼダム整備事業	水田が持つ水を貯める機能を利用し、大雨時に一時的に雨水を水田に貯めて、排水路や河川への流出を抑制し、洪水被害を軽減する田んぼダムを整備します。

③ 上水道耐震管路の整備（更新）

実施事業	事業内容
上水施設更新事業	地震等の災害時でも重要施設や避難施設等への水道水の供給確保のため、耐震化・耐水化を実施し、安全、安心でおいしい水の安定的な供給に努めます。

④ 公共建築物の長寿命化

実施事業	事業内容
下水道施設の改築事業	老朽化した下水道施設の調査を計画的に行い、長寿命化、耐震化、耐水化、共同化等の実施により適切な管理に努めます。
橋梁長寿命化修繕事業	道路施設の長寿命化対策による持続可能な道づくりを推進し安心して通行できる道路橋梁の維持保全のため、毎年2橋の修繕を実施します。
公共建築物リノベーション事業	安全・安心を確保する長寿命化改修を計画的に実施するとともに、公共建築物の最適な配置を実現するため、長期的視点で更新や統廃合も検討します。また、合わせて快適なまちを創るパブリックスペースとなるように、省エネ化やユニバーサルデザインを取り入れた整備を実施します。

⑤ 民間住宅のリフォーム改修

実施事業	事業内容
住まいの環境づくり応援事業	市民の生命を守るために木造住宅の耐震化や旧耐震住宅の除却支援に取り組みます。また、生活スタイルに合った快適な居住環境を確保するための間取りや省エネのリフォーム支援に取り組みます。

⑥ 空き家の適正管理と利活用の促進（再掲）

実施事業	事業内容
空き家コンシェルジュ事業	空き家の解消および空き家の発生の抑制を図るため、専門団体による無料相談会を実施します。
特定空家等改善事業	認定した特定空家等の所有者に対し、空き家解消のための指導を行います。
老朽危険空家等除却支援事業	老朽化して危険な空き家の除却を促進するため、除却費用の一部を支援します。
住み続けるまちさばえ支援事業	移住者や子育て世代、新婚世帯等が空き家の購入、リフォームをする際に費用の一部を支援します。

■ K P I (成果指標) (案)

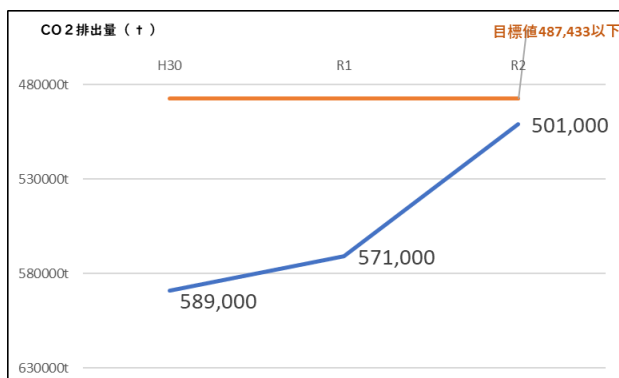
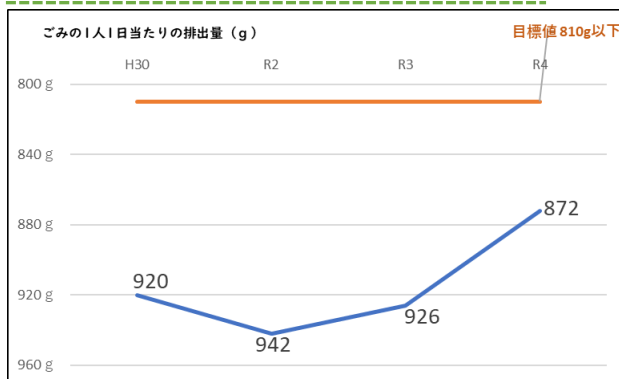
K P I (成果指標)	単位	現状値	目標値
防犯隊員数	人	1 5 7	1 7 0
家庭用防犯カメラ補助件数	件 (累計)	8 1	1 3 0
自主防災活動実施率	%	5 2 . 8	8 0 . 0
一斉配信メール登録者数	人	1 0 , 0 2 9	1 2 , 0 0 0
防災・福祉委員会実施率	%	2 . 6	1 0 0
空き家が解消された戸数	戸/年	9 3	1 4 0
空き家相談会参加者数	人/年	5 5	8 0
空き家情報バンク登録件数	件/年	3 3	4 0
上水道管の耐震化率	%	4 5 . 1	5 2 . 8
雨水幹線等の整備率	%	4 6 . 2	4 7 . 4
田んぼダム整備面積	ha	1 , 5 0 5	2 , 0 0 0
橋梁長寿命化に伴う修繕箇所数	箇所	2	2
公共建築物の長寿命化改修数	棟	8 (2023 年)	3 4 (2028 年)
民間住宅のリフォーム支援件数	件	4 8 (2023 年)	7 8 (2028 年)

基本施策5 環境にやさしい魅力的なまち

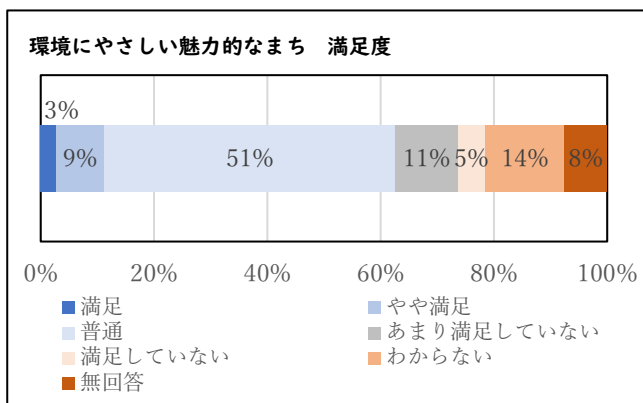
■ 現状

- 令和3年5月に「めがねのまちさばえゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。
- 街頭啓発によるごみ分別の啓発とあわせて組成調査により分別状況を把握し、ごみ分別の適正化に努めました。
- ごみの1人1日当たりの排出量は減少傾向にあり、資源化率は増加傾向にあります。
- CO₂の排出量は減少傾向にあります。
- 道路・河川里親および公園里親について登録を呼びかけ、市民協働による施設の維持管理に努めました。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度	3.86
-----	------

(5点満点・アンケート平均 3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと

- ・ 事業系のごみ排出量が増えているため、収集業者と協力し削減につなげる必要があります。
- ・ 省エネ機器の導入を積極的に推進していく必要があります。
- ・ CO₂排出量の削減に向けて、EV、FCV自動車の普及と事務所・住宅等におけるZEB・ZEH化を広報、ホームページ等で周知し、推進していく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性

- ・生物多様性の保全に配慮しつつ、地域、団体等が実施する自然保護活動を支援するとともに、人と生きものが共生できる環境づくりに努めます。
- ・大気汚染や水質汚濁、道路交通騒音・振動などの監視調査や事業所への立入調査を定期的実施し、公害の発生を防止します。
- ・省エネ機器の導入を積極的に推進します。
- ・CO2排出量の削減に向けて、EV、FCV自動車の普及のため、市内公共施設等を使い充電ポイントの拡充に努めます。
- ・生ごみの発生抑制や再利用化および紙類等の再資源化を推進し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）等をより積極的に実践することで、循環型のまちづくりを推進します。
- ・市内小学校の給食生ごみ量の削減を推進します。
- ・市民・市民団体・行政が連携して、子どもから大人まで、特に次世代を中心に生活のあらゆる場面において、環境に配慮して行動する人材を育成します。
- ・SDGsなどの取組みを背景に、地域とESG地域金融促進事業(グリーンファイナンスポータル)に積極的な企業とのつながりが求められています。これらの関係事業所と連携して地域企業の価値の発掘・支援を推進します。

デジタルの力でできること



- ・ごみ排出量のデータ化および見える化による意識啓発
- ・コウノトリのライブ配信

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 自然環境の保全

実施事業	事業内容
湧水等保全推進事業	湧水の水質調査を実施します。
コウノトリ保全事業	コウノトリの保全活動のため、巣塔の整備、足環の装着等を実施します。

② 公害の防止

実施事業	事業内容
一般環境監視調査事業	公共用水域や大気の監視測定などを行い、環境を保全します。
騒音・振動・悪臭調査事業	幹線道路などの定点測定を実施し、環境を保全します。また、工場などからの悪臭を調査し、指導します。
地下水汚染対策事業	地下水汚染区域内で揚水することで、汚染を浄化します。
事業所立入調査事業	環境保全協定工場の基準値が守られているかを調査し、指導します。

③ 循環型社会の推進

実施事業	事業内容
グリーンリサイクルタウン事業	生ごみ分解処理機や生ごみ分解処理容器を活用し、生ごみを減量します。また、生ごみリサイクル市民ネットワークを支援します。
ごみ減量化・資源化推進事業	容器包装プラスチック・白トレイ・製品プラスチックを資源化し、ごみを減量します。

④ ゼロカーボンシティの実現

実施事業	事業内容
LED照明器具取替支援事業	白熱灯・蛍光灯からLED照明器具の取替支援を行い、CO ₂ の排出量を削減します。
Cool choice 普及啓発活動	落語や紙芝居を通し、温暖化の現状、対策などを啓発します。

⑤ 環境市民の育成

実施事業	事業内容
環境活動団体支援事業	こどもエコクラブ活動や環境活動団体に対し支援をします。

⑥ 美化活動の推進

実施事業	事業内容
美化活動団体支援事業	花壇整備、堤防法面整備など美化活動に取り組む団体に対し支援をします。

⑦ 道路・河川・公園の保全

実施事業	事業内容
道路・河川・公園里親制度を活用した施設保全事業	市が管理する道路・河川・公園において、道路・河川・公園養子縁組届および合意書を市長に提出した各地域の自治会または各種団体を里親として登録し、環境保全活動に対して報償費を交付します。

⑧ 景観に対する住民意識の高揚

実施事業	事業内容
花によるまちづくりコンクール事業	花づくりを通して、町内および地区の各種団体の美しい景観づくりの取組を募集し、優良な取組を表彰して広く顕彰します。
公園整備市民協働事業	市が管理する公園の簡易な整備において、各地域や各諸団体の活動に対し、市が資材を提供し、市民参加のもと協働で公園の修景管理を行います。

⑨ 農業基盤の多面的機能の維持、発揮

実施事業	事業内容
多面的機能支払交付金事業	地域の農業用施設の適正な維持管理や農業環境向上のために必要な共同活動に対する支援を行います。

⑩ 人と生き物の共生の推進（再掲）

実施事業	事業内容
人と生きもののふるさとづくりマスタープラン推進事業	市民および本市が協働して、「鳥獣害のないふるさとづくり」を実現するための基本計画を遂行するために取り組む鳥獣害等の対策に対して支援を実施します。
有害鳥獣駆除事業費	イノシシ、クマ、畑や家屋へ侵入するアライグマ、ハクビシン、ニホンザル、ニホンジカ、チョウセンイタチなどの有害鳥獣の駆除を行います。

■ K P I (成果指標)

K P I (成果指標)	単位	現状値	目標値
ごみの1人1日当たりの排出量	g	872	773
資源化率	%	14.6	17.0
CO2 排出量	kg	501,000	357,780
道路・河川里親の活動団体数	団体	22	22
公園里親の活動団体数	団体	55	55